

【第2章】ソーシャルメディアとスマートフォンの衝撃

｜ パワーバランスの逆転と、個人の時代へ

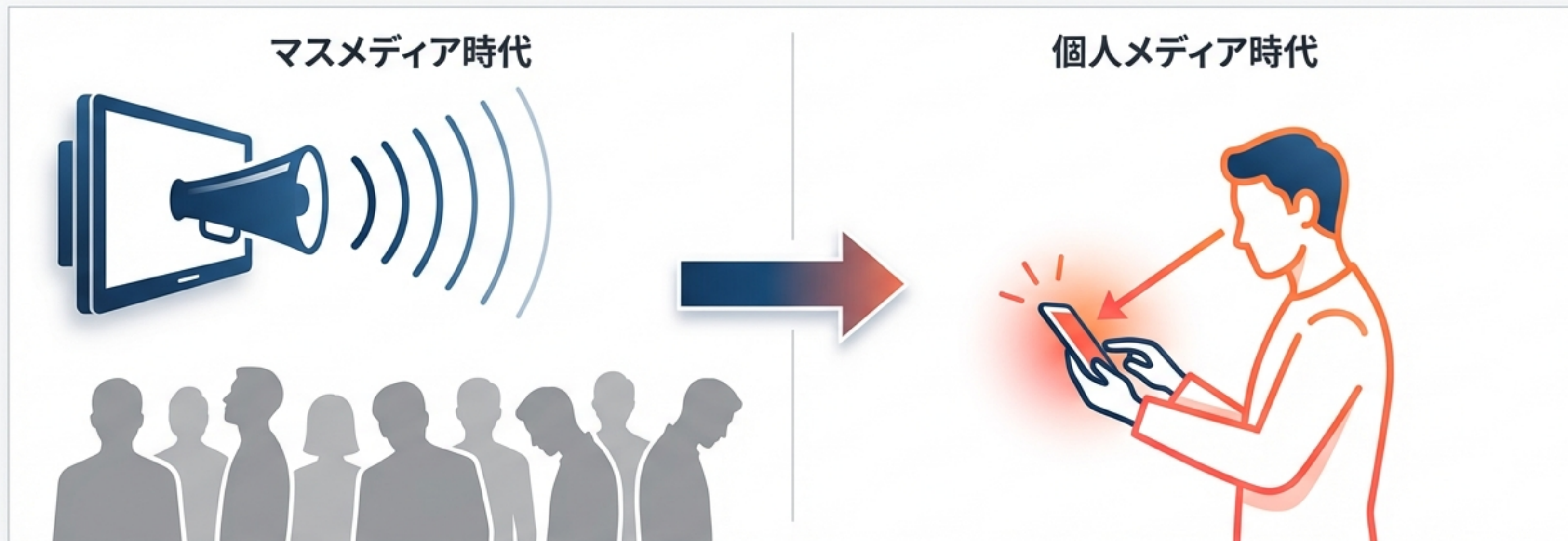


スマートフォンという「個人メディア」



24時間持ち歩くスマホの普及。

これにより、人々は企業のCMよりも手元の画面に夢中になりました。



誰も企業の声を聴かなくなった



企業がいくら大声で叫んでも届かない。
情報の主役は「マスメディア」から
「SNS上の口コミ」へと逆転しました。



主導権は「消費者」へ



見知らぬ誰かの「これ良かったよ!」という声が、
企業の何億円という広告費を凌駕する時代の到来です。

何億円もの広告費



個人の小さな共感の束

「コントロール」から「共創」へ

🔄 企業は情報をコントロールすることを諦め、消費者と共に価値を創り、シェアされる存在になる必要に迫られました。

過去：コントロール

企業 → 消費者



現在：共創



標的は「大衆」から「あなた個人」へ



一方で企業は、スマホという端末を通じて「大衆」ではなく「あなた個人」を特定し、直接アプローチする手段を手に入れました。



ネットの中だけでは終わらない

- ⚠ 企業はスマホで「ネット上のあなた」を追跡できるようになりました。しかし、人間の生活はネットの中だけで完結しません。


ネット空間 (Digital Space)



現実世界 (Physical Space)



現実世界の「壁」を壊す

 本当に個人を深く追跡するには、実店舗での行動もつなぎ合わせる必要がある。企業は次なる一手として「ネットとリアルの壁」を壊しに来ます。

